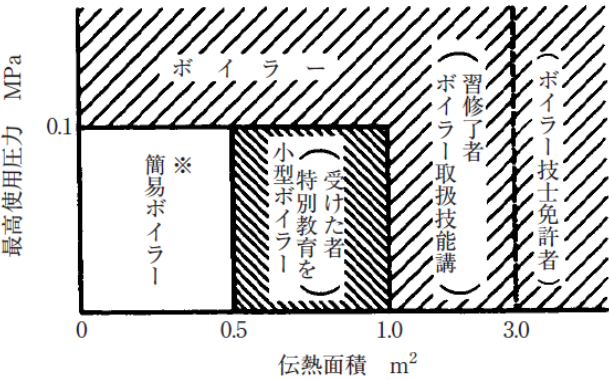


資料提供：一般社団法人日本ボイラ協会

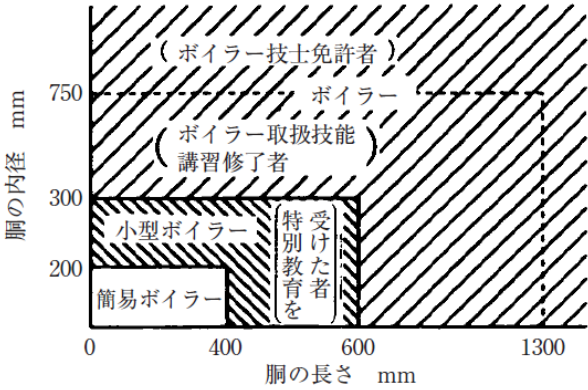
【蒸気ボイラー】

(Ⅰ) 最高使用圧力と伝熱面積による区分



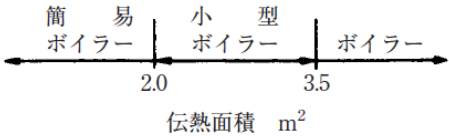
注 ※ 伝熱面積にかかわらず、使用圧力 $\leq 0.3\text{MPa}$ 、かつ、内容積 $\leq 0.0003\text{m}^3$ のボイラーが含まれる。

(Ⅱ) 胴の内径と長さによる区分

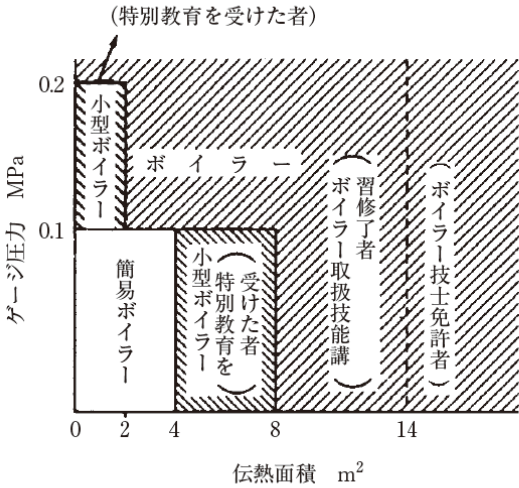


注 簡易・小型ボイラーの場合は、ゲージ圧力 0.1MPa 以下で使用する場合に限る。

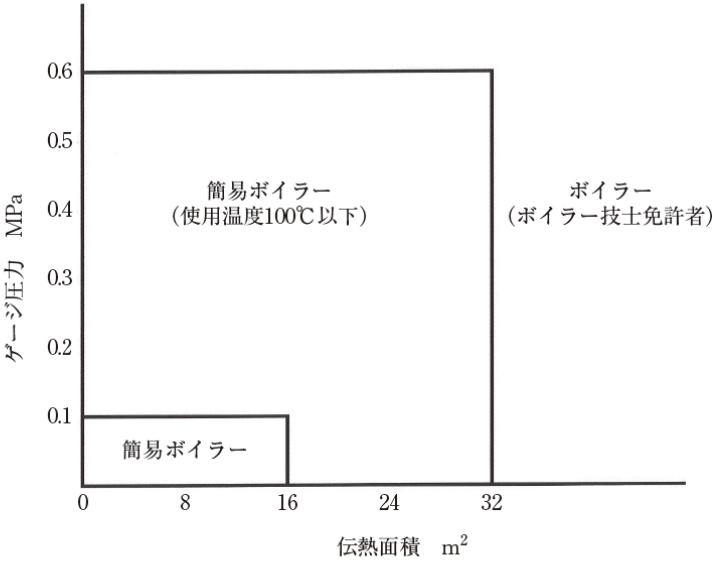
(Ⅲ) 開放管又はゲージ圧力 0.05MPa 以下のU形立管を蒸気部に取り付けたものによる区分（いずれも内径 25mm 以上）



【温水ボイラー】



(b-1) 温水ボイラー（木質バイオマス温水ボイラー以外）

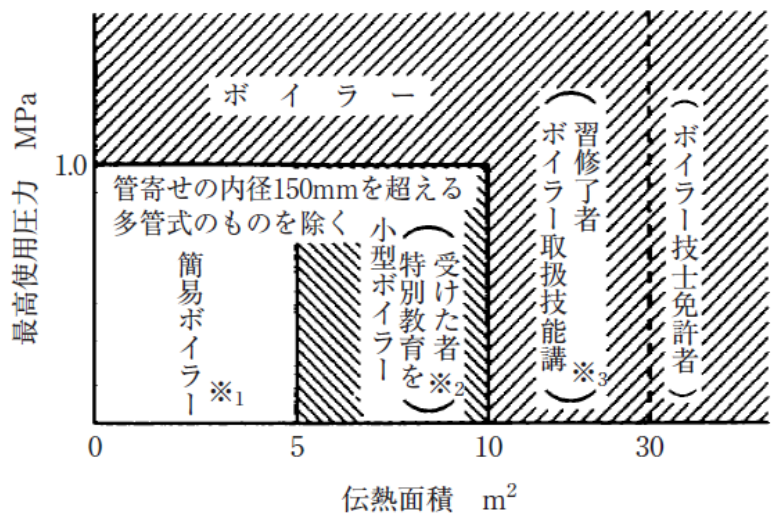


(b-2) 木質バイオマス温水ボイラー

(b) 温水ボイラー

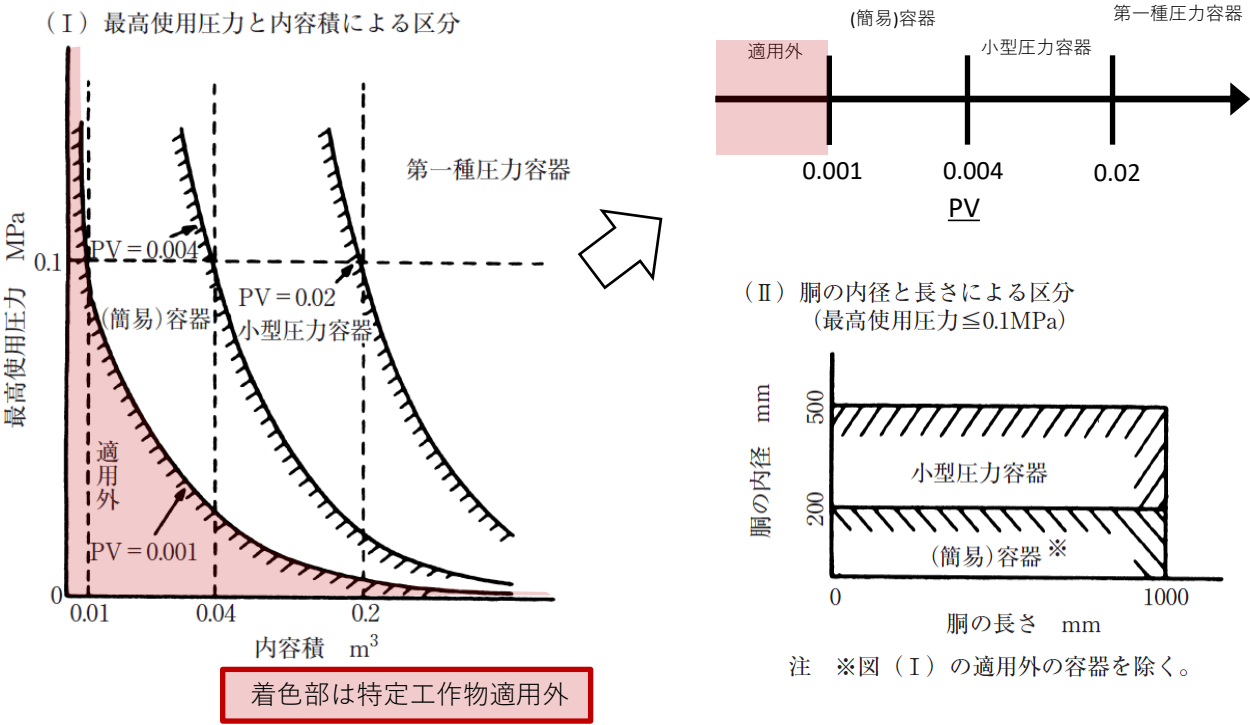
注) 温水ボイラーのうち、大気開放型であって、その内部の圧力が 0.05MPa を超えることのないものにあつては、いずれの区分のボイラーにも該当しないこと。(令和4.2.18基発0218第2号（第1条解釈例規（88））の記の第1の（4））

【貫流ボイラー】

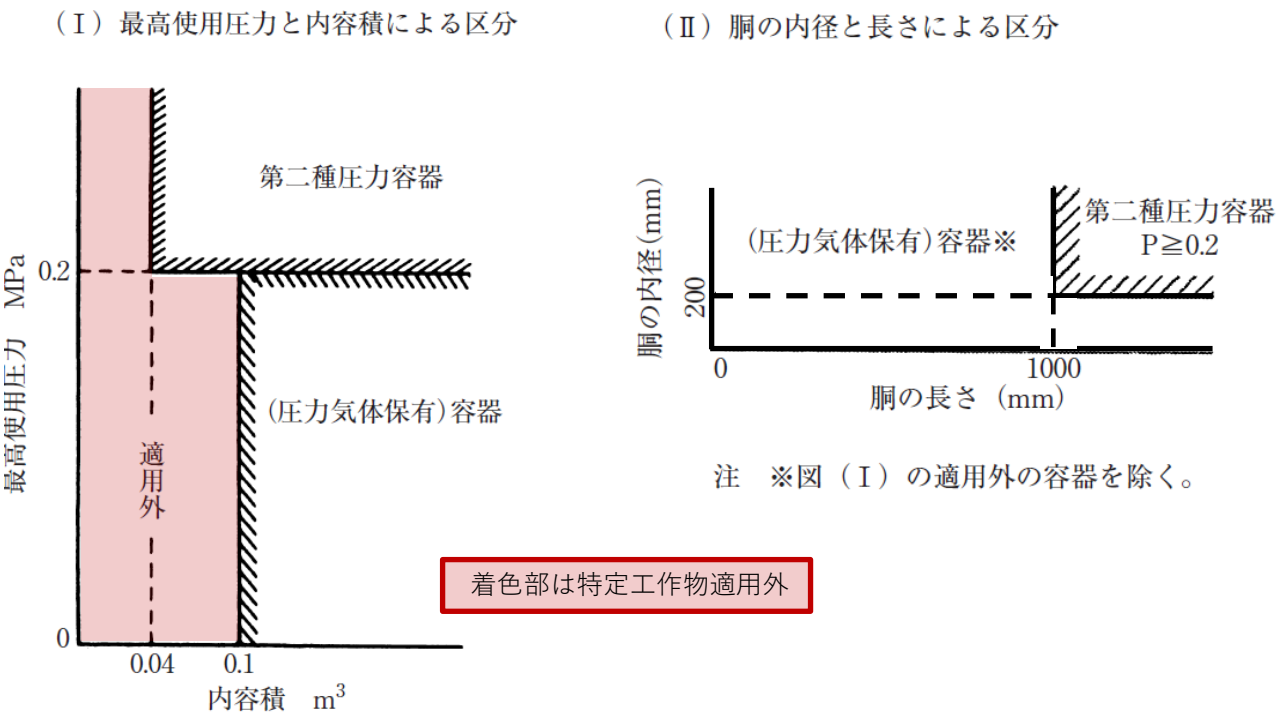


- 注(1) 気水分離器付きの場合
- ※₁ $D \leq 200$ かつ $V \leq 0.02$ に限る。
 - ※₂ $D \leq 300$ かつ $V \leq 0.07$ に限る。
 - ※₃ $D \leq 400$ かつ $V \leq 0.4$ に限る。
- D ：気水分離器の内径（mm）
 V ：気水分離器の内容積（m³）
- (2) 管寄せ及び気水分離器のいずれも有しない内容積が0.004m³以下の貫流ボイラーであって、その使用する最高のゲージ圧力をMPaで表した数値と内容積をm³で表した数値との積が0.02以下のものは簡易ボイラーに含まれる。

【第一種圧力容器】

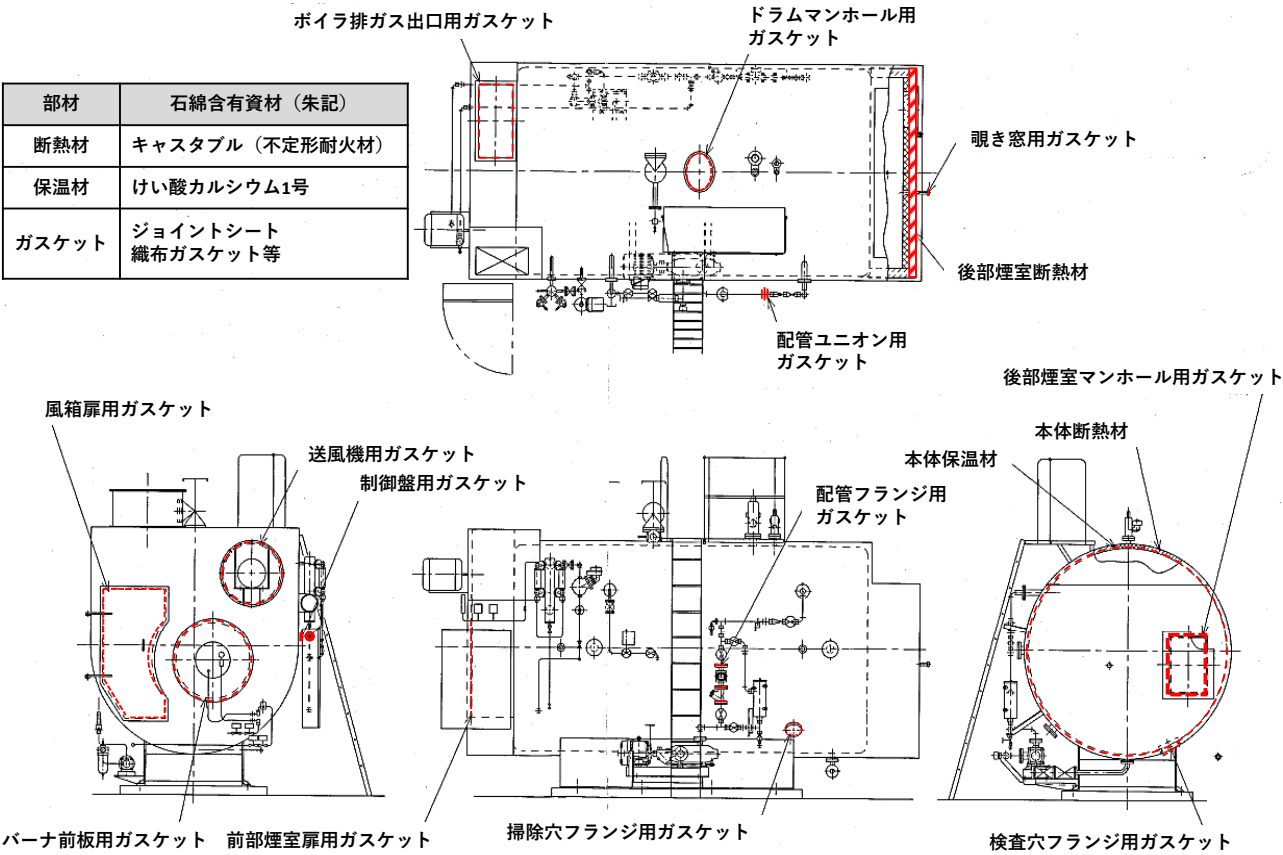


【第二種圧力容器】

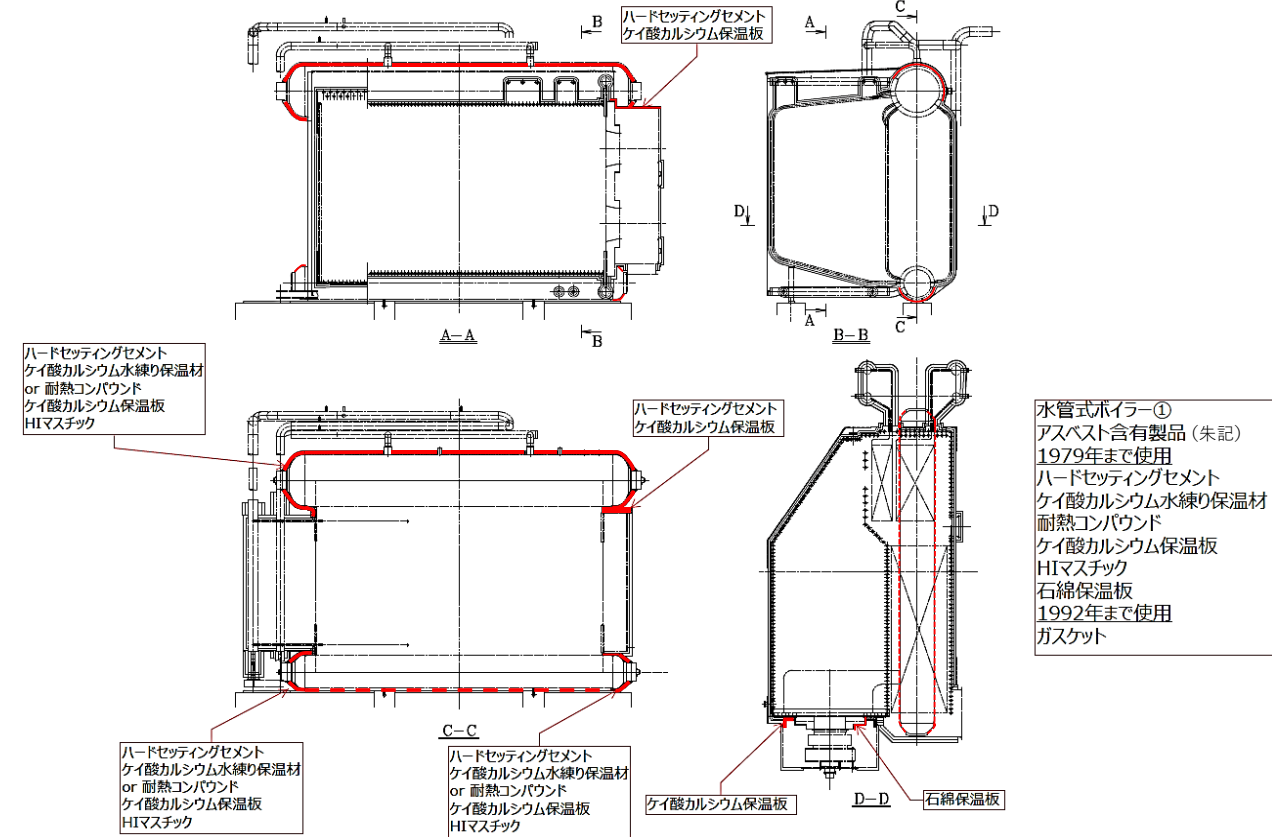


注）以下に示す石綿使用箇所、石綿の種類、適用年などの記載は一例であって、ボイラー・圧力容器メーカーによっても異なるものである。

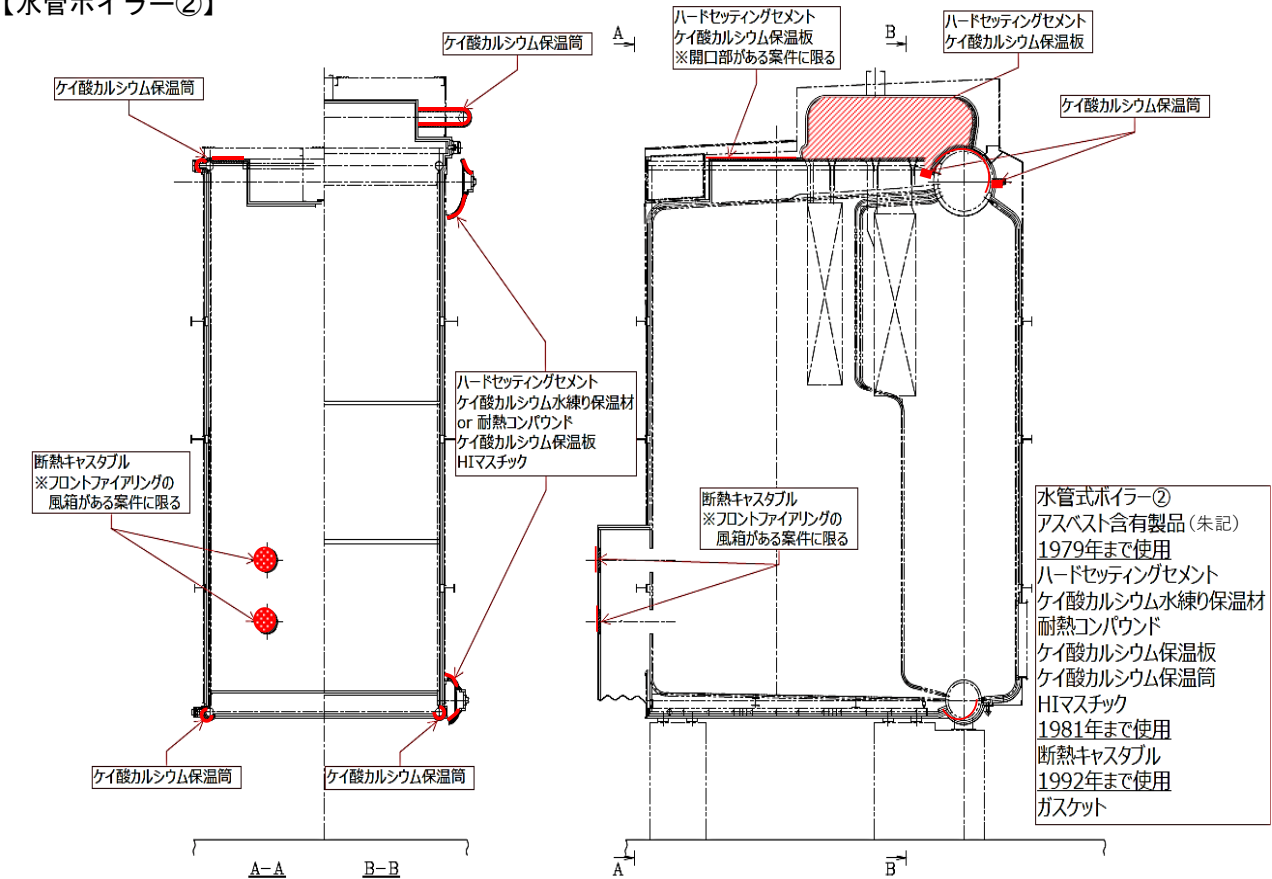
【炉筒煙管ボイラー】



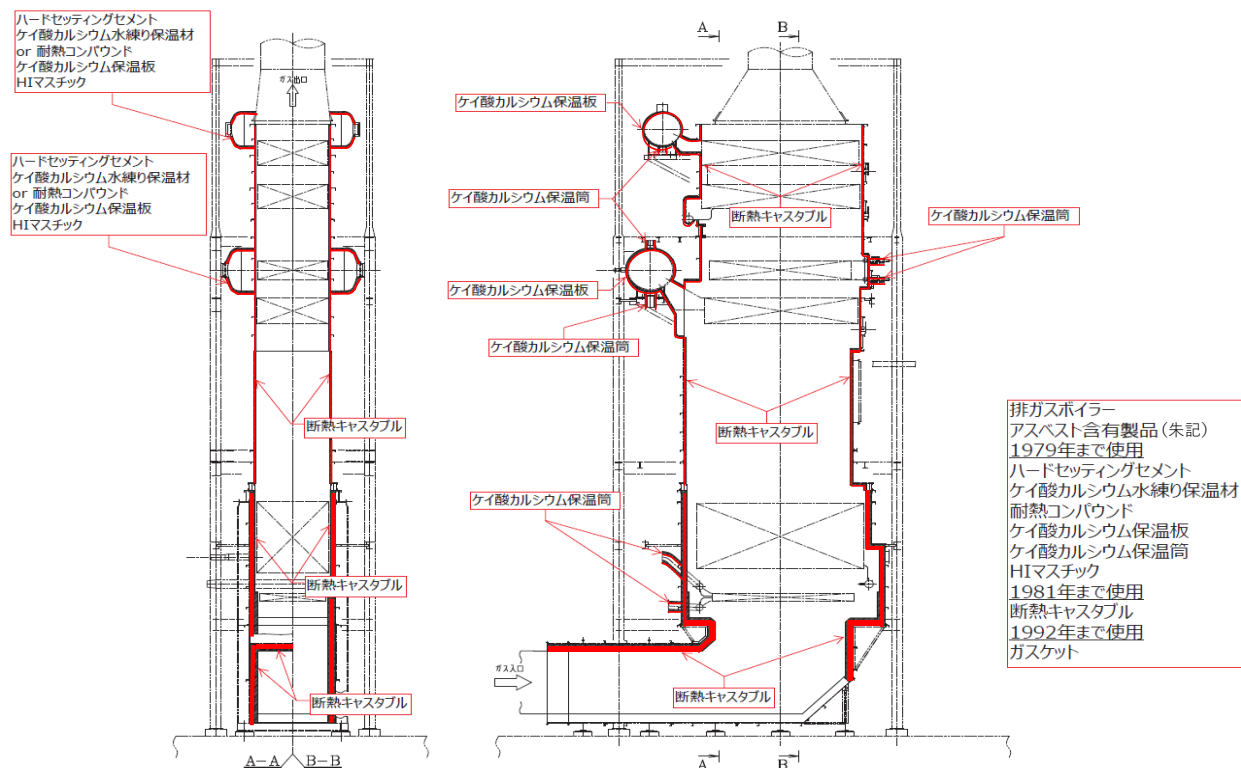
【水管ボイラー①】



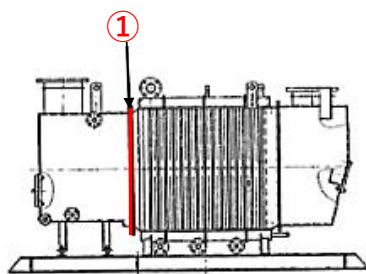
【水管ボイラー②】



【排ガスボイラー（縦型）】

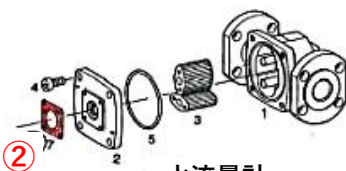


【排ガスボイラー（横型）及び附属品類】



排ガスボイラー本体

番号	使用部位	部材	資材
①	缶体出口	ガスケット	織布ガスケット
②	水流量計内部	ガスケット	ジョイントシート
③	水面計ガラス	ガスケット	ジョイントシート
④	水面計バルブ	パッキン	グランドパッキン
⑤	ストレーナふた	ガスケット	ジョイントシート



水流量計



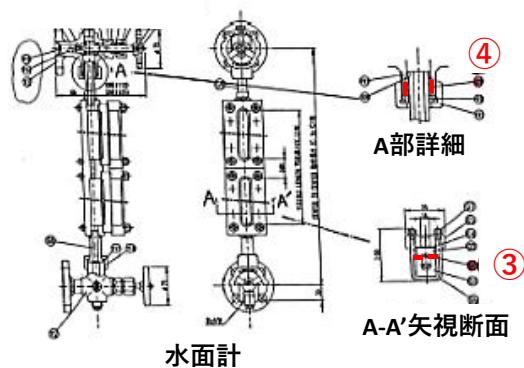
フランジ



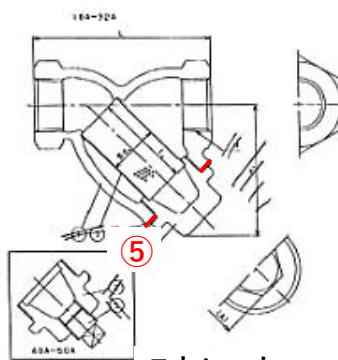
ユニオン



バスケット



水面計



ストレーナ

【鑄鉄製ボイラー】

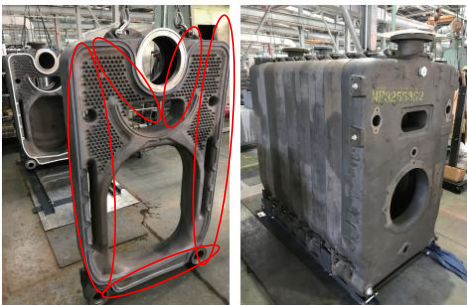
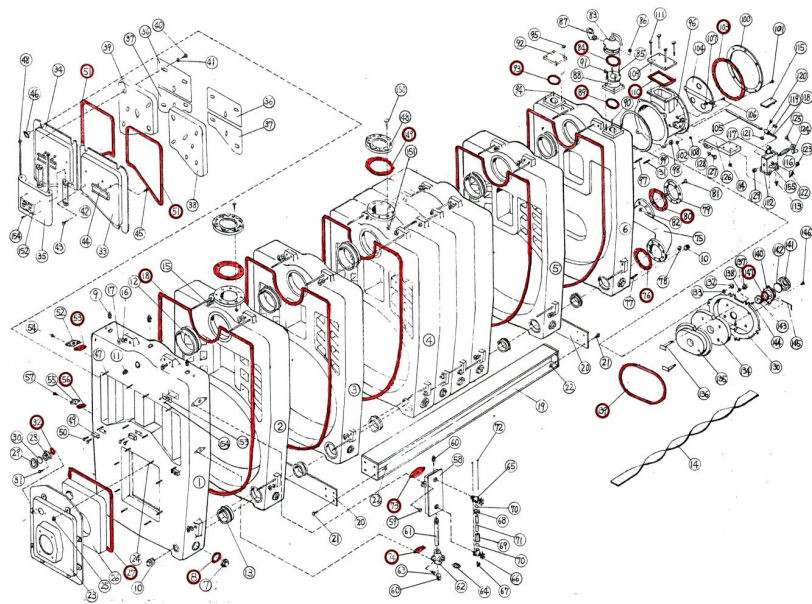
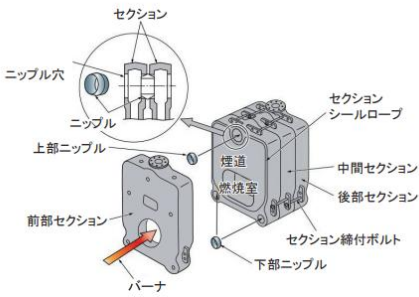
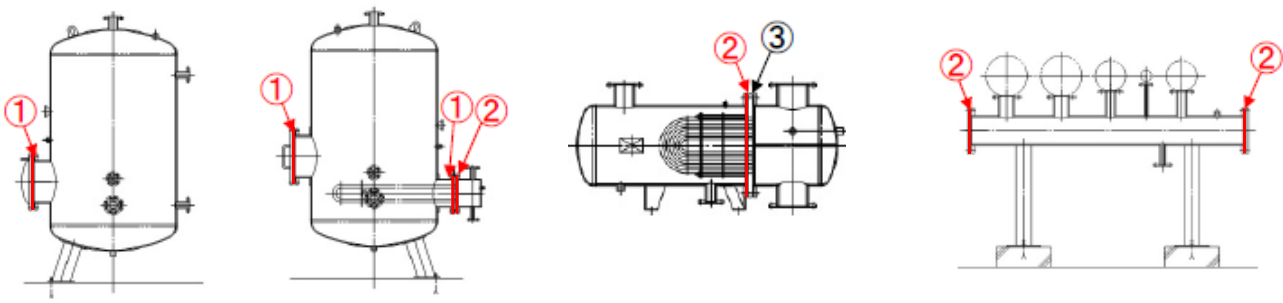


図 23 セクション（ウェットボトム形）の外観



朱記部のシールロープ，リボンパッキン，ジョイントシートに石綿が使用されていた。

【各種圧力容器】



貯湯槽
エアータンク

貯湯槽

熱交換器

ヘッダー

- 【使用部位】ガスケット（朱記：石綿含有資材）
- ① テフロン包みガスケット（中芯材は石綿シートガスケット）・・・流体：温水
 - ② 石綿シートガスケット・・・流体：蒸気、温水
 - ③ テフロンシートガスケット・・・流体：温水

【貯留タンク】

